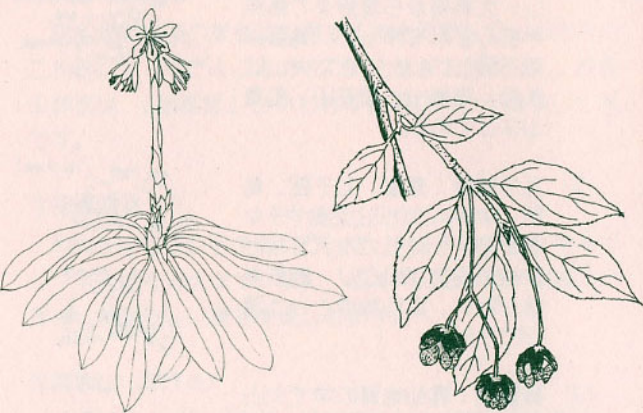


# 矢岳・高岩山の 自然ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ⑥



●ツクシショウジョウバカマ

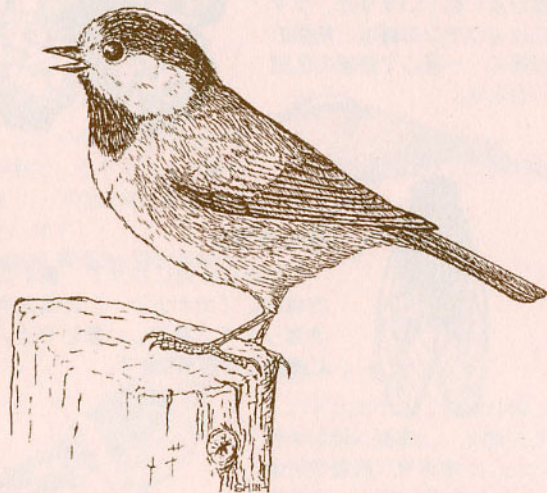
●ツリバナ

## 自然公園でのルール

- ① 植物や動物、鳥、昆虫などはとらずに観察する。
- ② 自然の美しさを保つため、ゴミは必ず持ち帰る。
- ③ 歩道、広場など定められた場所以外に入らない。
- ④ 大声をあげたり、ラジオなど鳴らしながら歩かない。

# 矢岳・高岩山の 散策ガイド

雲仙あちこちガイドシリーズ⑥



●ヤマガラ

## 自然保護憲章

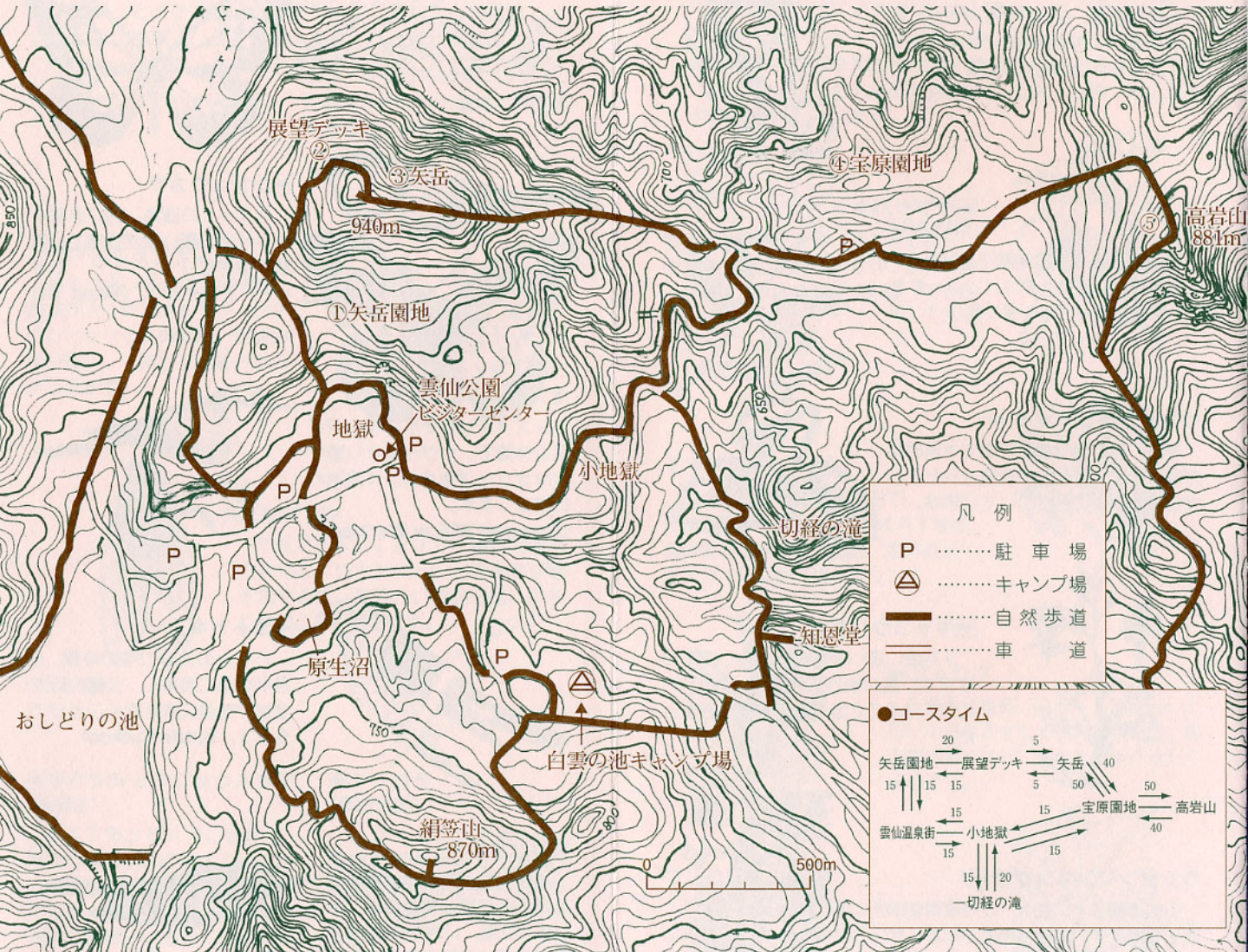
自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう！  
自然に学び、自然の調和をそこなないようにしよう！  
美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう！

監修・発行 / 雲仙公園ビジターセンター運営協議会

<http://www.dango.ne.jp/unzenvc>

〒854-0621 長崎県南高来郡小浜町雲仙320 ☎(0957)73-2642

# \*矢岳・高岩山散策案内図\*



凡例

- P ..... 駐車場
- △ ..... キャンプ場
- ..... 自然歩道
- == ..... 車道

●コースタイム

矢岳園地	← 20 →	展望デッキ	← 5 →	矢岳
↑ 15 ↓	15	15	5	40
雲仙温泉街	← 15 →	小地獄	← 15 →	宝原園地
15	15	15	15	50
↑ 15 ↓	15	15	15	40
切経の滝	← 15 →	高岩山	← 50 →	
15	20	40		

## \*矢岳・高岩山のみどころ\*

### ①矢岳園地

平成13年に整備された芝生地で、東屋風の休憩所やベンチがあります。周辺には植生の再生過程を観察できる場所もあり、登山の途中に立ち寄りしたいポイント。

### ②展望デッキ

この付近一帯は、地元のボランティアによる植栽事業が実施された所もあり、豊かな森への回復が期待されています。また、眼下には日本で最初のパブリックゴルフ場である雲仙ゴルフ場が広がっています。

### ③矢岳 (940m)

雲仙地獄地帯の東側に位置する溶岩円頂丘で、山の形が三角錐になっていることからこの名前がつけました。西側の斜面は、「崩壊壁」といわれる岩屑なだれが堆積した所です。

### ④宝原園地

例年5月初旬から中旬にかけて、約5万本のミヤマキリシマが見頃を迎えます。また、園地内には歩道や展望所もあり、素晴らしい景色を楽しめます。

### ⑤高岩山 (881m)

山頂部には巨石が多く、南西側に安山岩質の柱状節理の断崖があり別名ロックヒルとも呼ばれる溶岩円頂丘です。また、頂上からは島原半島南部や天草方面を遠望できます。

南西側から高岩山を望む。巨石が露出し、柱状節理のようすが一望できる。

## \*島原半島の生成\*

島原半島の生成は新生代第三紀の末期に南島原方面が堆積隆起しはじめました。その後、高岳期、九千部期、普賢期と火山活動が続き現在のようない地形ができていきました。

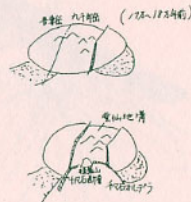
- (1) 南島原期：有馬川、矢代川、諏訪の池、下木場川を結んだ線以南が堆積隆起し始め、(□ノ津層)、その上に愛宕山や鳳上岳の噴火が重なり南島原方面が形成された。



- (2) 高岳期：火山活動が北へ移り多量の安山岩質砕屑岩を噴出し、北有馬から愛野まで島原半島の全形を作った。地層は竜石層といい、できた火山は矢岳、高岩山、絹笠山、猿葉山などである。



- (3) 九千部期：吾妻、九千部、鳥甲、鉢巻などの火山活動や千々石断層や千々石カルデラなどの地殻変動が起こり、島原半島が割れ、雲仙地溝という溝ができた。



- (4) 普賢期：雲仙地溝の中で火山活動が起こり、野岳、古普賢岳が噴火した。更に古普賢岳は頂上がふき飛び、中に新しい普賢岳が盛り上がり、妙見岳、国見岳、普賢岳の三峰が形成された。



- (5) 江戸時代の噴火：古焼溶岩や新焼溶岩が流れたり、眉山崩壊が起きた。



## \*矢岳・高岩山の植物\*

この地域には広くアカマツ林が発達して、林内には、ミヤマキリシマやイヌツゲ、ネジキ、シキミなどが生育し、季節ごとの花々を楽しめます。登山道沿いにはウンゼンササが発達し、矢岳の北側や高岩山の北側・東側一帯には植林地が広がっています。



◀ネジキ

6月頃に釣鐘状の白い花を多くつけます。ねじれた幹が特徴。冬の若芽が赤いため塗り箸の木とも呼ばれています。



◀ミヤマキリシマ

雲仙の初夏を代表する花で、九州の火山地帯特産の植物です。4月下旬頃、温泉街付近から咲き始め、宝原付近では5月中旬頃が見頃となります。



◀リョウブ

6月下旬頃長い雄しべを突き出した白い小さな花をたくさんつけます。幹の皮は薄くはげ、茶色と灰色のまだら模様です。



◀ウリハダカエデ

5月頃、細長い花序に淡緑色の小さな花をつけます。樹皮がマクワウリの実の色に似ているためこの名がつけました。

◀ハイノキ

5月上旬頃、白い小さな花をたくさんつけます。若葉を焼いて灰をつくったことから、この名があります。



◀ヤブツバキ

2月から4月、冬から春にかけて赤色の花をつけます。樹皮は灰色でなめらかで、種子からは椿油がとれます。

◀ウンゼンカンアオイ

早春、緑の葉の根元にあずき色の花が咲きます。雲仙岳で発見されたことからウンゼンの名がついています。



◀キッコウハグマ

9月頃、長い花茎の先に白い花をつけます。葉の形が五角形で「亀の甲」に似ていることからこの名がつけました。

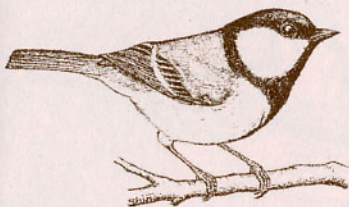
◀ウンゼンマンネングサ

山地の岩の上に生え、6月頃黄色い花をつけます。葉は多肉質で平たくなっています。



## \*矢岳・高岩山の野鳥・昆虫\*

矢岳付近では夏にはヤマガラ、シジュウカラ、ウグイスなどの留鳥が見られ、冬鳥の渡来も多い。高岩山には、山頂部で蝶やトンボなど多く見られます。



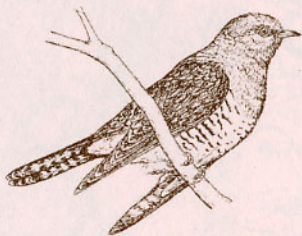
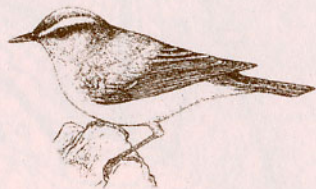
◀シジュウカラ

スズメ大の留鳥。胸にあるネクタイ状の黒い線が特徴で、活発に動き回り「ツッピー・ツッピー」と鳴きます。(Great Tit)

▶センダイムシクイ

スズメよりやや小さなウグイスの仲間、ウグイスより鮮やかなオリーブ色の鳥。4月初めに渡来します。

(Crowned Willow Warbler)



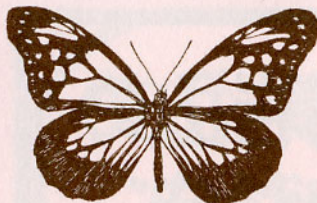
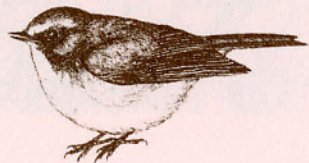
▶ホトトギス

ハト大のカッコウの仲間。5月半ば頃に渡来し、公園内ほぼ全域で普通に声を聞くことができます。(Little Cuckoo)

▶ルリビタキ

雄は背面が青く雌は褐色で、雌雄とも脇腹が橙色のスズメより小さな鳥。11月から4月まで、温泉街付近以下の中腹部で単独で縄張りをもって越冬します。

(Siberian Bluechat)

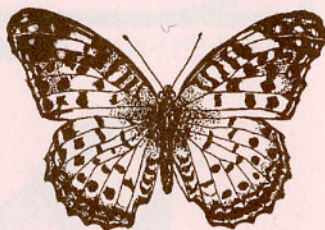


▶アサギマダラ

マダラチョウ科の一種。南方地域から季節風によって飛来します。初夏から晩秋にかけて、林内をふわふわと優雅に飛ぶ姿を見ることが出来ます。

▶ツマグロヒョウモン

ヒョウモンチョウの仲間は、雌雄がよく似ていますが、ツマグロヒョウモンの雌は、前翅の先が黒く、一見して雌雄の区別がつかます。



▶ヒグラシ

7月から8月にかけて、朝または夕方林内に「カナカナ…」と鳴き声が響き渡ります。夏涼しい雲仙では、日中に鳴くこともあります。

▶ツクシショウジョウバカマ  
(表紙左)

3月下旬から4月にかけて、林内の歩道沿いに高さ10～15cmの花柄に数個の花を咲かせます。花色は、開花したときは白色で次第に赤褐色へと変わっていきます。

▶ヤマガラ  
(裏面表紙)

スズメよりやや大きく、腹部の栗色が目立つ留鳥。中腹以上の自然林や二次林で一年を通じて普通に見られます。